

⑤ ソン・シンイン 著、光吉さくら 訳

『いつもひとりだった、京都での日々』

(早川書房)

著者のソン・シンインは台湾の映画監督で、2018年に発表した長編アニメーション映画「幸福路のチー On Happiness Road」は世界の名だたる映画賞を受賞しています。本書は著者が京都に留学していた日々を綴ったエッセイです。祇園祭や吉田寮、古い喫茶店など、いかにも京都といった風景が数々登場します。そんな古都、京都で著者は多くの人と出会い、それぞれの人生の悲しみや喜び、孤独や情熱を知ります。“いつもひとりだった”著者は京都の街をどんな思いで見えていたのでしょうか。本書は様々な人々の人生の物語でもあり、そのすべてを包み込む「京都」という街の物語なのかもしれません。(N.O.)

778.2224 || Sonw

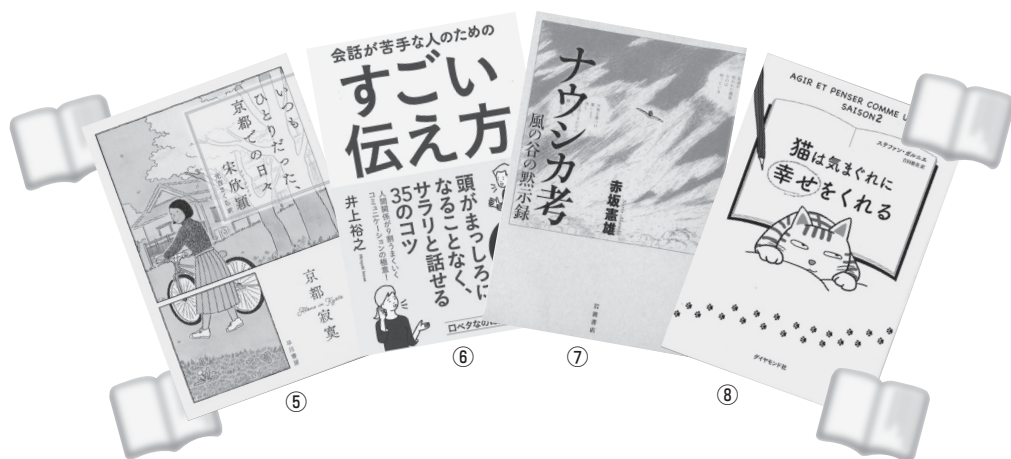
⑦ 赤坂憲雄 著

『ナウシカ考 風の谷の黙示録』

(岩波書店)

スタジオジブリのアニメ映画「風の谷のナウシカ」には、漫画版が存在することをご存知でしょうか。映画が公開される2年前から連載が始まり、映画公開の10年後に完結した全7巻。アニメ版で語られる内容は漫画版2巻の途中までに過ぎず、漫画版ではより多くの登場人物、より多くの設定とともにさらに壮大かつ難解な物語が編まれています。著者は'94年に完結した漫画版を読み終えた時の感動を持ち続け、25年の歳月を経てようやくナウシカについて語り始めた民俗学者。文化人類学の視点から見る風の谷の部族社会、文明、そして人間、いのち。ナウシカとは一体何だったのか、著者と一緒に探求してゆく学問の世界を味わうことができます。(N.S.)

726.1 || Aka



⑥ 井上裕之 著

『会話が苦手な人のためのすごい伝え方』

(きずな出版)

人に何かを伝えようとするとき、頭の中が真っ白になりうまく話せなかった経験が多くの人にはあるのではないのでしょうか。

私も「すごい伝え方」とはどのような方法なのだろうと手にとりました。

この図書は、5つのChapterにすごい伝え方の35のコツがまとめられています。5つそれぞれ興味深い内容ですがその中でも、Chapter4会話で絶対やってはいけない6つのことが書かれています。相手の言うことを否定しない。違うなと感じてもまずは聞くこと、それは相手を受け入れることにつながるそうです。最後まで読み日頃の自分と照らし合わせると、円滑なコミュニケーションのヒントが見つかるかもしれません。(N.T.)

361.454 || Ino

⑧ ステファン・ガルニエ 著、吉田 裕美 訳

『猫は気まぐれに幸せをくれる』

(ダイヤモンド社)

著者のガルニエ氏が愛猫ジギーとの生活から学んだ、生き方のコツをつづったエッセイです。前作『猫はためらわずにノンと言う』はフランスでベストセラーになりました。猫のように自尊心を大切に生きる方に、誰もが憧れているようですね。猫のジギーは2018年に亡くなってしまいましたが、本書は温かいユーモアのある文章で、猫と人に対する考察や、ジギーが与えてくれた幸せについて語られています。以下、「猫クイズ」(p.58)からひとつ。「Q. 猫にとって、カリカリ一粒＋一粒＝？」「a.カリカリ二粒 b.全然足りない c.誰かと分かち合いたい」。答えを考えてみてください。(S.O.)

159 || Yos